

# 海士あま

平成24年1月15日(日) 14:30開演(14:00開場)

会場：ゲバントホール(本川町)

電車：本川町下車 徒歩4分

JR広島→約20分→本川町→本川町下車→約4分

広島バスセンター下車 徒歩8分

県庁前下車 徒歩10分

〒730-0802 広島市中区本川町2-1-13

和光パレス21 5F TEL (082) 503-1711

## 解説

<海士> 藤原北家栄華の始源伝説  
一母は子のため命を捨てたー

樹下 好美

## 能

「海士」シテ 山下 麻乃  
子方 寺澤 拓海  
ワキ 塩田 耕三  
間狂言 善竹 忠亮  
笛 今村 徳和  
小鼓 横山 晴明  
大鼓 森山 泰幸  
太鼓 中田 弘美  
地謡 波多野 晋  
寺澤 幸祐  
今村 一夫  
山中 雅志  
後見 山本 博通  
森本 哲郎

### 樹下 好美

1960年東京生。慶応義塾大学文学部卒。  
法政大学大学院にて表章博士に師事。  
元日本学術振興会特別研究員(PD)。  
博士(文学)、  
中世文学会、能楽学会会員、広島市在住

### 山下 麻乃

観世流能楽師シテ方 1967年広島市生  
京都薬科大学クラブ活動にて能楽と出会う。  
その後プロの能楽師を志し大阪市にて  
観世流職分山本勝一に師事。現在、大阪、奈良  
徳島、広島などで舞台公演、謡曲、仕舞の指導、  
講座・ワークショップの活動を行っている。  
能楽協会大阪支部会員  
山下会主宰



## 龍宮に盗られた面向不背珠

それは今から千三百年昔の物語。  
藤原不比等の妹姫は唐の高宗皇帝の後となり、  
故郷へ宝の珠を贈った。宝珠の中には釈迦の像が  
どの方向から拝してもこちらを向いているという。  
その名を面向不背珠(めんこうふはいのたま)という。  
しかしこの世にふたつとない宝珠は志度の沖で  
龍神に盗られてしまった。  
知らせを聞いた不比等は志度へ下向し  
宝珠が沈んだという海を呆然と眺めた。  
そのとき不比等の目に映ったのは、魚のように  
鮮やかに白波を縫って泳ぐ、ひとりの美しい海士。  
ふたりは結ばれ、ひとりの男の子が生まれた。

ある日海士は、不比等の正体を知った。  
そして海中に沈んだ宝珠の話を知った。  
海士は決意を不比等に告げた。  
「私が龍宮へ行き、必ず宝珠を取り返しませう。  
ただし約束してください。もしも私が龍神に襲われ  
息絶えても、宝珠を取り返せたならば私達の子を  
藤原家の跡継ぎにしてくださいることを。」  
一本の命綱を頼りに海士は海底へ向かった。

そして十三年が過ぎ、藤原房前(ふさぎさき)大臣は  
都から志度へと向かっていた。  
房前は母を知らない。  
風の噂に聞いた。己の母は身分の低い海士であり  
志度で亡くなったのだと。  
月光が志度の海を冷たく照らす。  
そのときひとりの海士が現れ、  
かつて命をすてて龍宮に向かった房前の母の  
ことを語り始めるのだった…

## 睦月のつどい

終演後、ロビーと同階のダンススタジオを会場として  
交流会をいたします。「海士」をテーマにした小さな和菓子と  
温かいお茶をご用意します(無料) 17:30終了予定

## ●入場料2800円(全席自由)10月26日発売開始

## チケット購入・講座参加お申し込み方法

下欄の内容をご記入いただき、お申し込み下さい。

いずれの方法でもけっこうです。

●FAX 06-6945-5755

●MAIL asobiza@asobiza.com

●電話 090-4691-0856

※お申し込みいただきましたら入場券と振込用紙をお送りします。  
※お送りいただいた情報はご連絡のため以外には使用いたしません。

主催 遊び座・伝統芸能を楽しむ会 <http://asobiza.maiougi.com/>

後援 広島市・広島市教育委員会

## 海士が2倍面白くなる講座

能「海士」を楽しんで頂くために物語の背景や  
原文の詳細・見どころなどを解説します。

平成23年12月18日(日) 10時半~12時  
まちづくり市民交流プラザ北棟6階

マルチメディアスタジオ

受講料:500円(講座のみの参加も可)



入場券お申し込み用紙 FAX→06-6945-5755

ふりがな		通信欄
お名前		
ご住所	〒	電話・FAX
ご希望枚数	枚	講座に参加される方のみ 人数をお書きください
	名	e-mail